



(東アカ社員)

合格者から学ぶ人物試験対策



(京都府に最終合格されたMさん)

2019年夏受験で京都府（中学国語）に最終合格されたMさん。彼女は2次試験を250点満点中・・・なんと！225点という高得点で合格されました！！そんな彼女に人物試験対策をどう取り組んだか、お聞きしたいと思います。

- Q1. 人物対策を始めた時期は？ → A：1月から。（受験回数4回目、大筋の見通しを立てられた状態での受験だったということもあったので。採用試験初心者の方は、**結構な準備期間があるため、11月頃から**少しずつ始めた方がいいと思います。）
- Q2. 面接を受けるにあたり、一番力を入れて準備してきたとは？ → A：①表現の仕方（声・表情・仕草・礼節について、東アカ講師陣のみならず、**あらゆる他者から**意見を頂戴しました。）②自身の教職観と教科専門性の振り返り（生徒の姿を想像した上で、教壇に立って**どのような教師でありたいか**、教科を通して**どのようなことを実行していくか**ということ、具体的に考察し書き出しました。）③作った面接の文言の推敲（言葉選びを何度も繰り返し行い、他者に聞いてもらい意見を頂戴し、修正を重ねました。）
- Q3. 志望自治体の動機は、どのように考えましたか？ → A：**どのような生徒を育てていきたいか**、ということをもとに教育振興計画に明示してあったことが第一の動機です。それによって私自身も、**当自治体の数ある事業に参画していきたい**と強く思いました。
- Q4. 人物対策で苦労したことは？ → A：集団討論です。グループ練習を何度も重ね、メンバーと討論後**しっかりフィードバック**を行いました。そのたびに課題が出てきて、メモしていき次にその課題を減らしていくよう心掛けました。また、私自身は、なかなか建設的な話し合いの仕方にイメージが持てなかったため、ファシリテーションについて学びました。それを学んだことによって、話の流れの見通しを持つことができたこと、切り出し方や話題転換の際の語彙を増やすことができました。
- Q5. 東アカの対策で良かった点は？ → A：東アカの対策で良かった点は、3点あります。1点目は人物対策練習で、経験豊富な講師の方々から**フィードバックをきめ細やかに**頂けることです。本番直前期で受けられる面接・模擬授業練習では、多く練習させてもらい、本番で緊張せず発揮することができました。2点目は、教室を貸してもらい模擬授業の練習やグループ練習をたっぷりさせてもらったことです。事務の方々にも、いろんな面で支援していただき、心の支えとなりました。3点目は、**志を同じくする人たちと多く出会い、切磋琢磨し合えたこと**が、試験まで自身のモチベーションを維持することができたと思っています。
- Q6. これから受験される方へ応援メッセージをお願いします！ → A：教師になる！と思う気持ちには**熱意が大切**です！！この熱意を試験本番まで燃やし続ける環境が、東アカにはそろっていると私は思っています！！経験豊富な講師の方々から、そして、いろんなバックグラウンドを持った受験生からも学ぶ機会が多くあります。これらの機会を活かして、是非ご自身の成長につなげていってほしいと思います。**どんな人からも学ぶ**、という気持ちを大切に、受験を頑張ってください！！！！